

指定校番号	30021	○	学級活動		児童会活動		クラブ活動		学校行事
-------	-------	---	------	--	-------	--	-------	--	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立高須小学校	校長	梶原 弘志	生徒指導主事	徳重 雄大
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『行事ふり返しシート』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「集団向上力」	1	「社会貢献力」	3	「自己指導能力」	2

取組のねらい キーワード『自ら伸びる・共に伸びる』

○学校行事の参加に向けて、児童一人一人に明確な目標を持たせる（考えさせる）ことを通して、自己や集団を高めていこうとする意欲を持たせる。

【自己決定の場を与える・共感的人間関係を育成する】

○「行事ふり返しシート」の記入を通して、自己や集団における成長や目標に対する達成度を明確にし、児童の自己肯定感を高めるとともに、資質・能力の向上を図る。

【自己存在感を与える】

育てたい資質・能力について

- ・自己指導能力・・・意欲を育てる、実行力を育てる、ふり返し力を育てる。
- ・集団向上力・・・リーダーを育てる、つながりを育てる、空気を育てる。
- ・社会貢献力・・・より良い社会をつくる意欲を持たせる、人のお役に立つ喜びを持たせる。

取組の具体的内容 キーワード『ふり返し、成長（高まり）を感じる』

行事実施前

○学校行事実施前に、各行事に応じた個人や学級、学年の目標を持たせる。集団（学級や学年）の目標については、教師と児童との間で共通認識を図る。

【自己決定の場を与える・共感的人間関係を育成する】

行事取組途中

○教師、児童がそれぞれ中間評価を行い、目標に対する達成度の確認や取組の方向性・児童の意識の修正を行う。

【自己決定の場を与える・共感的人間関係を育成する】

行事終了後

○行事終了後に、「行事ふり返しシート」を書かせ、自己の成長や集団としての高まりを感じさせる。

【自己存在感を与える】

取組の課題・創意工夫 キーワード『中間評価の充実』

課題

- 「行事ふり返しシート」は行事終了後のふり返しに重点を置いているため、中間評価において、児童に自己評価を書かせることが十分にできていない。
- 中間評価においては、教師主体のふり返しになることが多い。
- 学校行事を通して身に付けた力について、日常との関連を図る。また、日常から見通しを持った活動・指導を行っていくことを目指す。

創意工夫

- 書く活動を通して、児童がしっかりとふり返し、じっくりと考えることができています。
- 「書く活動」ということで、国語科の学習と関連させている。

取組の成果（効果） キーワード『高まり』

- 自己の高まりや成長を感じている児童もそれに満足することなく、周りの児童（集団）を意識し、声掛けや手助けをすることができるようになった。（自己有用感や所属意識の高まり）
（例）音楽発表会の練習において、鍵盤ハーモニカの運指ができるようになった児童が友達をサポートするようになった。
- 集団としての力やリーダーの主体性が高まった。
（例）教師の肯定的な声掛けで、落ち着いた雰囲気をつくることができるようになった。
また、児童間で進んで空気づくりの声掛けができるようになった。

今後の展開 キーワード『形成的評価』

- シートの形式を「目標」「中間評価」「総括的ふり返し」の三段構えにし、シート1枚で児童が形成的評価と総括的評価の両面ができるようにする。

他教科との関わり キーワード『書く活動』

- 「書く活動」ということで、国語科の学習と関連させた。